

科目名		電気設備 I			
担当教員	町田 実		実務授業の有無	○	
対象学科	建築設備システム科	対象学年	1	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数		時間数	48時間
授業概要、目的、授業の進め方	1. 電気理論の基本、計算の仕方、法令などををしっかり理解する。 2. 配線、工事の施工方法の基本を理解する。 3. 第2種電気工事士筆記試験【電気基礎理論】対策。 4. 座学→模擬試験→解答と解説を繰り返し行い、合格基準の到達を目指す。				
学習目標 (到達目標)	・第2種電気工事士技能試験の各学科項目が、最終到達として2種の合格レベルの合格点になるよう習得する。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	①第2種電気工事士筆記試験模範回答集 電気書院 ②第2種電気工事士筆記試験すいと合格 藤崎和弘・著				
NO.	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	電気に関する基礎理論		方法：理論解説と問題集の練習と解答・解説 達成目標：合格点の獲得 準備学習：教科書の予習		
2	配電理論及び配線設計		方法：理論解説と問題集の練習と解答・解説 達成目標：練習問題合格点の獲得 準備学習：教科書の予習		
3	器具類並びに工事用の材料及び工具		方法：器具記号と名称及び使用方法の解説 達成目標：練習問題合格点の獲得 準備学習：教科書の予習		
4	電気工事の施工方法		方法：写真及びボードにて解説 達成目標：練習問題合格点の獲得 準備学習：教科書の予習		
5	一般電気工作物の検査方法		方法：検査器具の実物及びボードにて解説 達成目標：練習問題合格点の獲得 準備学習：教科書の予習		
6	配線図		方法：図記号の読み取り、複線図の練習 達成目標：練習問題合格点の獲得 準備学習：教科書の予習		
7	一般電気工作物の保安に関する法令		方法：用語の解説と法の解釈及び練習問題の実施 達成目標：練習問題合格点の獲得 準備学習：教科書の予習		
8	期末テスト ・第2種電気工事筆記試験の内容でテスト		方法：第2種電気工事士過去問題より出題 達成目標：第2種電気工事士筆記試験過去問題合格 準備学習：教科書の予習		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
期末試験、平常点と必要に応じて提出を求めるレポートを総合的に判断して評価する。 定期試験90%、確認問題5%、平常点5% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			各項目ごとに、模擬問題を行うことで習得状況の確認をする。また、繰り返し行うことで重要なポイントをしっかりと理解させる。 合格基準に到達するため、正解率の低い回答については、十分な解説を行う。		
実務経験教員の経歴	電気工事士・施工管理技士として30年間電気工事の現場に係っていた。第一種電気工事士				

科目名	電気設備Ⅱ				
担当教員	町田 実		実務授業の有無	○	
対象学科	建築設備システム科	対象学年	2	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数		時間数	48時間
授業概要、目的、授業の進め方	1. 電気理論の基本、計算の仕方、法令などををしっかりと理解する。 2. 配線、工事の施工方法の基本を理解する。 3. 第二種電気工事士筆記試験【電気基礎理論】対策。 4. 座学→模擬試験→解答と解説を繰り返し行い、合格基準の到達を目指す。				
学習目標 (到達目標)	・第二種電気工事士技能試験の各学科項目が、最終到達として二種の合格レベルの合格点になるよう習得する。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	第二種電気工事士筆記試験模範回答集 電気書院 第二種電気工事士筆記試験すいっと合格 藤崎和弘・著				
NO.	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	電気に関する基礎理論(前年度の復習)		方法：理論解説と問題集の練習と解答・解説 達成目標：合格点の獲得 準備学習：教科書の予習		
2	配電理論及び配線設計(前年度の復習)		方法：理論解説と問題集の練習と解答・解説 達成目標：練習問題合格点の獲得 準備学習：教科書の予習		
3	器具類並びに工事用の材料及び工具(前年度の復習)		方法：器具記号と名称及び使用方法の解説 達成目標：練習問題合格点の獲得 準備学習：教科書の予習		
4	電気工事の施工方法(前年度の復習)		方法：写真及びボードにて解説 達成目標：練習問題合格点の獲得 準備学習：教科書の予習		
5	一般電気工作物の検査方法(前年度の復習)		方法：検査器具の実物及びボードにて解説 達成目標：練習問題合格点の獲得 準備学習：教科書の予習		
6	配線図(前年度の復習)		方法：図記号の読み取り、複線図の練習 達成目標：練習問題合格点の獲得 準備学習：教科書の予習		
7	一般電気工作物の保安に関する法令(前年度の復習)		方法：用語の解説と法の解釈及び練習問題の実施 達成目標：練習問題合格点の獲得 準備学習：教科書の予習		
8	期末テスト ・ 第二種電気工事筆記試験の内容でテスト		方法：第二種電気工事士過去問題より出題 達成目標：第二種電気工事士筆記試験過去問題合格 準備学習：教科書の予習		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
定期試験90%、確認問題5%、平常点5% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			各項目ごとに、模擬問題を行うことで習得状況の確認をする。また、繰り返し行うことで重要なポイントをしっかりと理解させる。 合格基準点に到達するため、正解率の低い回答については、十分な解説を行う。		
実務経験教員の経歴	電気工事士・施工管理技士として30年間電気工事の現場に係っていた。第一種電気工事士				